

# 育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.196

2020. 2. 1

## 新年のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会  
会長 美和 とよみ

皆様、お元気で新年をお迎えのことと存じます。昨年は会の活動にご支援・ご協力を賜りありがとうございました。深く感謝申し上げます。また、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今年もよろしく願いいたします。

さて、「第5次ノーマライゼーションプラン」の策定が始まりました。11月に「障害のある方の生活ニーズ調査アンケート」が送られてきた方もいらっしゃると思います。来年度には団体ヒヤリング・市民説明会・パブリックコメントが行われ、策定されます。相談支援体制の充実・住まい方と場所の確保、短期入所の充実、障害者の権利を守る取り組みなど、多くの課題があります。会員の皆様には、「第4次ノーマライゼーションプラン」の進捗状況とともに、関心を以て注視していただきたいと思っております。

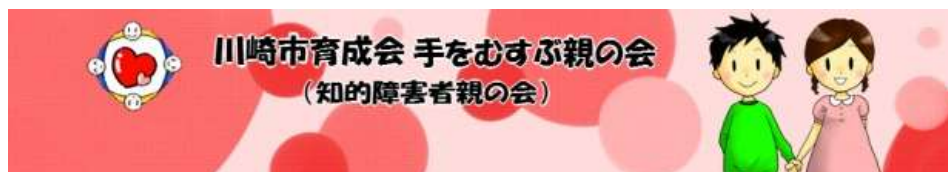


また、1月18日(土)川崎市民プラザに於いて「令和2年成人を祝う会」が開催され、福田市長をはじめ多くの来賓の方々やご家族と共に成人のお祝いをしました。新成人の参加者も年々増えており、大勢の方々とお祝いできることを、大変嬉しく思っています。特にご家族の皆様には、立派に成人した我が子の姿に喜びもひとしおだったと思います。今後の彼らの人生が楽しいものでありますように願うとともに、親の会として共に歩んでいこうと思っております。

最後になりますが、台風15号・19号で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。当会としても、避難のあり方など、地震発生時だけでなく、台風に備えた内容でも検討してまいります。自宅が被災した時はもちろんですが、通所施設が被災した場合の子どもたちの居場所については、早急に考えていかなければなりません。皆様のご意見をお聞かせください。共に考えましょう。

### ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



## 令和2年成人を祝う会

令和2年1月18日（土） 川崎市民プラザ

### 市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦



ご紹介いただきました川崎市長の福田でございます。

新成人の皆さん、本日は誠におめでとうでございます。

そして、皆さんをこれまで育ててこられた親御さんにも、心からのお祝いを申し上げたいと思います。

また、今日は実行委員の皆さま始め学校関係、施設の方、それから仕事でお世話になっている会社の方、たくさんお見えいただいているということで、高い席からではございますが、この場をお借りして心から感謝申し上げたいと思います。

さて、晴れて成人になられた訳ですが、皆さんが、お生まれになった1999年、あるいは2000年、20年前どんなことがあってどういう時代だったかということのを改めて考えますと、20年というのは、ものすごい時代の変化が起きているということのを考えさせられます。例えば、私たちが今当たり前のように使っている携帯電話、スマートフォン。当然スマートフォンは、あの時代には無かった訳ですが、携帯電話ですら、まだ半数以下しか普及していませんでしたので、多くの人たちが携帯電話すら持っていない時代でした。グーグルという会社もありませんでした。インターネットが全般的にそれほど今のように普及していない時代、あるいは世の中の的にみると、飛行機でまだタバコが吸えた時代でした。というように、今考えると、「えっ、飛行機でタバコが吸えたの?」「ちょっと考えられないよね」という風な、ちょっと昔のことが、今考えると信じられないような時代になっています。これくらい時代の流れというものは速いし、技術の進歩というものは目覚ましいものがあります。さあ、これからの5年、10年、皆さんが「あれ、ちょっとこれはできないな」あるいは、「苦手だな」と思っていたことが、これからの技術の進化によって、いろいろな可能性ができてくると思っています。ぜひ、皆さんの能力、それぞれ違うと思いますが、自分の個性をこれからも存分に磨いていただいて、あらゆる可能性に挑戦していただきたい、と思っております。

おりしも、皆さんが成人を迎える今年、2020年は、わが国にとっても大変大きな節目の年です。東京オリンピック・パラリンピックが行われます。オリンピックと言いますと、何か皆でスポーツをやって、スポーツのためにワイワイやろうという感じに思う方もいらっしゃると思いますが、オリンピックの理念はそういうものではありません。オリンピック憲章の一番最初に書いてあるのは、スポーツを通じて、若い人達を教育し、今より、平和でより良い社会を作っていくこと。このことは、パラリンピックでも同様でして、人間の可能性というものを改めて見つめ直して、そして、私たちの気付きをもって、社会変革を促すきっかけを作る。そういうためのものです。ですから、皆がスポーツだけやっていればこれで目的を達するかと言えば、全くそうではありません。スポーツをやるか、やらないかではなく、皆がいろいろなことに気づいて、そして、可能性を広げていく、私たちの社会全体のいろいろなものに挑戦していく良い機会になっていると思えます。「これまでこうだったよね」ということが、これからは、もっとスピード感を持って社会に普及していく、そんな年にしたいと思っています。そのためにも、成人となられた皆さんには、親御さんたちにとってはいつまでもとても愛すべきお子さんだと思いますが、世の中の的にみると皆さん立派な社会人であるわけです。ぜひ、これからもお一人お一人責任と自覚を持って、社会のためにも、自分のためにもそれぞれの道で頑張りたいと思います。皆さんの、これからの益々のご健康とご多幸、幸多きことを心からお祈りして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうでございます。

## 成人者誓いのことば

成人者代表 あおき ひろと  
青木 碩杜

本日は、私たち新成人のために、このような素敵な会を開いていただきありがとうございます。

私は、高津養護学校生田東分教室を卒業し、現在、富士通ゼネラルハートウェアで清掃の仕事をしています。仕事では、大変なことも沢山ありますが、指導員の方先輩に教えていただいて頑張っています。小さい頃から「挨拶をすることは大切だ」と教えてもらい、学校でも職場でも元気に挨拶をするように心がけています。最近、実習に来た高校生に自分からすすんで挨拶をしたり、「お疲れさまです」と声をかけたところ、「緊張していたけれど、少しリラックスできました」と言ってもらい、嬉しかったということがありました。



今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。今から応援するのが楽しみです。私も休日には趣味の陸上の長距離を練習して体力をつけています。これからも、マラソンや駅伝大会に出て記録更新にチャレンジしたり、好きな鉄道の情報を集めて、遠くまで乗りに行ったり、写真を撮って楽しみたいです。こうして今日、元気に成人を祝うことができるのは、自分を支えてくれた家族や学校の先生方、また、社会人としてまだまだ未熟な私を優しく指導して下さいました。会社の方々のおかげと感謝しています。

これからも、自分でできることは、自分でやり、自分が得意なことは、自分からすすんでやり、自分が不得意なことや難しいことは相談したり、手伝ってもらったりしながら少しずつできるようになっていきたいと思います。

これまでありがとうございました。そして、これからも、よろしく願いいたします。

成人者代表 せい の なおた  
清野 直太

私は川崎市立中央支援学校卒業生の清野直太です。

中央支援学校を卒業後、野村総合研究所の特例子会社であるNRIみらい株式会社で勤務しています。上司や同僚が優しく接してくれる職場です。会議室のセットアップやパソコン入力の仕事仲間と協力し気合で乗り切っています。



私は、成人という大きな節目を迎え、まずは一人の社会人として、謙虚な心を持って日々を過ごして行きたいです。学生生活で先生方に教わった報告連絡相談をこれからは会社で実践していき、両親に教わった料理や家事の技能を自身の将来に役立てたいと思っています。

その上で私は自身の夢である誰かを支えられる人になりたいです。なぜなら成人を迎えるまでにたくさんの人に助けてもらってきたからです。学生時代に悩んだ時には、いつも周りの励ましで立ち上がれました。これからの人生で私も同じように周りの人に寄り添って生きていきます。

今回私たちの成人という大きな節目を祝う準備をしてくださった方々、自分たちの成長のためにたくさんの方々に教えてくださった先生方、そして、私たちの成長を誰よりも喜んでくれた両親に心から感謝を申し上げるとともに優しく、素直で、たくましい社会人になることを誓って、新成人代表の誓いの言葉とさせていただきます。

川崎市長より、新成人の皆様へ記念品贈呈がありました



## 第53回 手をつなぐ育成会関東甲信越大会 埼玉大会

会計 梅田 順子

開催日：11月9日（土） 会場：埼玉会館

テーマ：「この子らを世の光に」—— ノーマライゼーションの原点に立って！ ——

雨が続いた後の晴天の下、総勢17名（本人会4名を含む）で参加しました。



村山 勇治 顧問

【大会式典】開式の言葉で始まり、「手をつなぐ母の歌」が斉唱されました。大会主催者挨拶では埼玉県手をつなぐ育成会顧問の村山勇治氏が「相次いで関東地方を襲った台風の被害者にお見舞い申し上げます。また、『津久井やまゆり園』の事件から3年、あらためて糸賀一雄先生の残した言葉を継承していかなければならないと感じています。そして、育成会を立ち上げるために奮闘努力した方々に感謝の気持ちをささげたいと思います。」と述べられました。続いての来賓挨拶では、埼玉県知事、さいたま市長、埼玉県議会副議長から祝辞をいただきました。



久保 全育連会長

全国手をつなぐ育成会連合会久保会長からは「やまゆり園の事件では心無い意見を言う人もいるけれど、障害者がいきいきと生きられる多様性のある社会を作っていきたいです。上皇后美智子様から『手をつなぐ』を宮内庁を通して購入してご覧になっているとお声がけをいただきました。私たちにとって何よりの励みになることです。」と挨拶がありました。

### 【全体会】中央情勢報告

全国手をつなぐ育成会連合会統括 田中 正博 氏

中央情勢報告として、次の内容について説明がありました。



田中 全育連統括

- ・相談支援専門員の強化
- ・「自立生活援助」の報酬の設定
- ・地域生活支援拠点の機能強化と、新たに共生型サービスを位置づけ（高齢者と障害者が同一の事業所でサービスを受けやすくする）
- ・障害者虐待防止指導者養成研修の内容については、来年度大幅な見直しを検討されている

その他、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に障害者の文化芸術活動の推進を図るため、来年4月から全国を7ブロックに分けて「障害者の文化芸術フェスティバル」を開催することや、今後の育成会は、何のための、誰のための育成会活動かを見直し、新たなアイデアで対応できる体制づくりを目指したいと説明がありました。

### スローガン「次世代につなげよう育成会運動」

#### 大会宣言（抜粋）

- 1 それぞれの多様性を認め合う共生社会の実現のために、啓発活動を続けていきます。常に謙虚に愚直に、どのような逆境にあってもあきらめず努力を続けます。
- 2 知的に障害があるせいで、その人の人生が理不尽な日々の積み重ねであってはなりません。その人らしい幸せな人生を送ることができるよう、必要な支援を必要だけ提供できるシステムを社会の中に作り上げていきます。
- 3 どんなに重い障害があっても、ひとりの人間であり、かけがえのない命です。本人の意思と命が尊重される地域社会を目指して、育成会活動を続けていきます。

## 第1分科会「これからの育成会」

～ネット社会の今だから人と人との繋がりを大切にしたい～

### 1. 基調講演 「ネットで伝わりますか？親の思い、子どもの気持ち」



講師：久保 厚子 氏

3人の母たちの思いから出発した育成会ですが、近年、会員の高齢化と減少が課題となっています。また、インターネットの普及によって、「情報は得られるから大丈夫」という声も聞こえてきます。けれども、やはり、同じ思いを持つ人と人とのリアルな繋がりが大切です。私たちの出会いや繋がりは財産になるのです。

### 2. シンポジウム

#### 【シンポジスト】

佐々木 桃子 氏 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長

江村 恵子 氏 一般社団法人群馬県手をつなぐ育成会会長

善川 夏美 氏 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会副会長

#### 【コーディネーター】金子 麻由美 氏 一般社団法人広島手をつなぐ育成会会長

それぞれのシンポジストから、会員を増やすために、様々な視点から取り組み、実際に全国的に減少傾向にある会員数を、支部としてV字回復させた事例などの発言がありました。啓発活動は小さい頃からの方がより効果的とか、キャラバン隊、学齢期前後の保護者への働きかけ、高齢会員への丁寧な説明など、私たちにもできることがあります。（高山 君子）



## 第2分科会「権利擁護を考えるーやまゆり園で散った命からー」

～それでも減らない虐待・差別をどう乗り越えるか～

### 1. 基調講演 「知的障害児者の命と人権を守り抜くために私たちがやるべきこと」

講師：野澤 和弘 氏

2016年7月26日に起きた相模原事件を中心に、様々な視点からのお話を伺いました。その中で、一番印象に残っている言葉は、「施設は被害者なのか」というものです。「この事件後、防犯設備を充実させるためなどの補助金要請があったが、果たして問題はそういうことなのか。犯行に及ぶ前の勤務中の出来事や職場の人間関係などの中から動機を探るべきではないか。」と話されました。そして、「今こそ、福祉の原点を思い起こし、福祉の仕事のすばらしさを確認していくとき」との言葉に希望を見いだせたように感じました。

### 2. シンポジウム

シンポジストは、野澤和弘毎日新聞論説員、松上利男社会福祉法人北摂杉の子会理事長、村山園千葉県手をつなぐ育成会権利擁護委員会委員長の3名の方々と、コーディネーターに田中正博全国手をつなぐ育成会連合会統括で行われました。

それぞれのシンポジストから、障害のある人の人権について、虐待や権利擁護、意思決定支援などについてお話がありました。障害があるからといって、本人に意思がないわけではありません。そういった点からは、施設の職員や私たち家族だけでなく、地域の人々にもそのことを理解してもらわなければならないと強く思いました。

相模原事件は、私たちにとってつらい事件ですが、障害のある人の思いを多くの人に理解してもらうことで、福祉の原点に立ち返ることができるように思いました。（多摩支部 中村 多美子）



## 第3分科会「ともに生きる」を実現するために ～共生社会で生きることを支えるもの～

講師：又村 あおい 氏



障害者基本法では共生社会について「全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生しあえる社会」と示されています。このような「ともに生きる」社会の実現のためには、障害者の特性を知ってもらい、合理的配慮をもって関わってもらうことが必要です。

そこで、又村氏は育成会が取り組む活動として、知的障害者への理解を進める地域での啓発活動をあげられました。地方自治体には障害者差別解消法で啓発活動の実施が義務付けられ、障害者総合支援法では必須事業に位置づけられているため、活動に対して行政の協力も期待できます。先駆的な活動例として、研修を通して配慮の方法を理解し障害者との実際の関わりを推進する鳥取県の「あいサポート」運動、障害特性の疑似体験を取り入れた啓発隊（神奈川県「座間キャラバン隊」、兵庫県「ビーす&ピース」、広島県「あび隊」など）の活動を具体的に紹介されました。

また、知的障害以外で支援制度が立ち遅れている分野にも目を向け、困りごとを共有した上で、育成会の経験やノウハウを地域で生かす取り組みを勧められました。

又村氏は何度も「ともに生きる」相手を知ろうとする姿勢の大切さを話されましたが、それを根底に障害を理解してもらい活動を続けることが私たちにできることであり、共生社会へ近づき支えるものなのだと思います。  
(小澤 千枝)



### 本人会

支援者 針木 正子



暖かな秋の1日、「私たちの広場」のメンバー3名と支援者1名で、「手をつなぐ育成会関東甲信越大会埼玉大会」に参加しました。大会テーマは『「この子らを世の光に」ノーマライゼーションの原点に立って』です。午前中に開催された式典には、『私たちの広場』のメンバーをはじめ、多くの本人達が参加しました。『私たちの広場』のメンバーも、回りの方々も皆、自信に溢れた表情で式典に臨まれていました。

式典後の本人大会は、鉄道博物館バスツアーでした。参加者が多くバス3台に分乗し出発。館内は、鉄道の歴史・車両展示・鉄道ジオラマなどがあり、どれも興味津々で、皆“鉄ちゃん”や“鉄子”になりきっていました。新幹線ラウンジ



では東北新幹線が目の前を通りすぎ、後ろを振り向けば在来線がのんびり通過していて何とも言えない時間が流れていました。

今回は、個々での自由見学でしたので他県の方との交流は少なく、分科会での意見交換・交流もあつたらよかったという意見もありましたが、今回も、各々が自信を付け、充実した大会となりました。

行政関係者との研修会

川崎市の取り組み～知的障害者ができることを見つける、支援する～

研修事業推進委員長 太田 理佐

10月21日(月)てくのかわさき(ホール)に於いて、川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害者雇用・就労推進課担当係長 平井恭順氏と社会福祉法人青い鳥 横浜東部就労支援センター(前年度 川崎南部就労援助センター所属)林裕美氏をお迎えして、研修会を行いました。参加者は、会員26名を含め42名の参加がありました。今回、学齢時の保護者が多く参加されました。



川崎市では、知的障害者の福祉施設の製品の品質向上や販路の充実を支援し、工賃向上につなげる取り組みとして、「KAWASAKI 産 SUN フェスティバル」と題した販売会を関係団体と協力して JR 武蔵溝ノ口駅の自由通路で開催しています。

また、障害者それぞれに合った仕事の紹介や職場への定着を川崎市就労援助センターで行っています。さらに、心身のコンディションにより、週に20時間未満での働き方が望ましい障害者については、「短時間雇用創出プロジェクト」をすすめています。これからの少子高齢化による人手不足を思うと、障害者雇用は雇う側にとっても有益なものになるでしょう。



川崎市独自の取り組みとして、企業応援センターも開所されました。様々な支援は必要ですが、福祉施設や企業などいろいろな所で、それぞれに合ったかたちで障害者とその力を発揮し社会参加をしてほしいと思いました。

令和元年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会

『おいしく楽しく食事を続けるために』

～だれもが、口から食べ続ける願いを実現したい!～

講師 小山 珠美氏

11月13日(水)神奈川県立かながわ労働プラザ3階多目的ホールにて研修会が開催されました。講師の小山さんは、「NPO法人口から食べる幸せを守る会」理事長で、看護師でもあります。今、「美味しく人生の最後まで食べ続けたい」と願う一方で、「食べさせてもらえない」というつらい立場におかれる方が増えています。安全に食べさせる技術や対応ができていないので、誤嚥性肺炎や低栄養を引き起こし、本人の食べる意欲の低下という悪循環まで生んでいます。障害者も、要介護高齢者も、子どもも基本は同じです。「食べたいし、食べさせてあげたい」「食べることは幸せなこと、価値のあること」です。体を起こすから目が覚める、そして、目を見た情報が脳に行く、安全だと過去の情報から分析して飲む行為に至る。五感を働かせ、手を動かして食べることは脳機能を低下させません。安易な「とりあえず禁食」の弊害は小さくないのです。食べていない、あるいは全介助を受けていると脳機能がどんどん低下します。いろいろな体の機能が複合的に衰えているから誤嚥性肺炎になるのです。単なる呼吸器疾患や嚥下の病気ではないのです。誤嚥から誤嚥性肺炎になるのではなく、病原細菌を吸い込む、不適切な環境や介助、口腔の汚染、その他の状況でも誤嚥するのです。



今回の講演の最後に、胃瘻の状態から自分の口で食べられるまでに回復された方々の映像が上映されました。食べることによって、意欲と体力と豊かな表情をとりもどしていく様子は、ビデオの逆回しで時間が遡っているのではないかと思うほど鮮烈で心に焼き付きました。

(高山 君子)

川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会  
知的障害理解のための研修会

「合理的配慮」とは？ ～さまざまな場面の具体例から考える～

1月20日(水)てくのかわさきホールで、白梅学園大学こども学部発達臨床学科教授堀江まゆみ氏をお招きして研修会を開催しました。また、堀江先生の講演の前に、かわさきキャラバン隊による知的障害疑似体験もを行い、「合理的配慮」について学ぶ導入としました。

堀江先生も、知的障害疑似体験を交えてわかりやすく障害のある人の困り感について説明してくださいました。そして、障害のある人が戸惑う事柄について具体的な事例を挙げて、どのようにすればセンスのある「合理的配慮」が提供できるのかを教えてくださいました。



講師：堀江 まゆみ 氏

堀江先生は、お話の中で、何回か「そりゃ、そうだよな。」という言葉を使われました。その言葉は、障害のある人が困っている気持ちを、まずは受け入れることから、「合理的配慮」は始まるのだと示されているように思えました。また、文字が反転して見えたり、ゆがんで見えたり、二重に見えたりするために、うまく文章が読めず、意味も理解しにくい人達の例を写真で説明してくださいました。もし、「そんな風に見えるわけがない」と、その事実を否定してしまったら、その人が持つ苦しみや悩みを理解することはできません。いろいろな見え方や聞こえ方があることを理解して、一つの価値観にとらわれないことが大事だと痛感しました。そして、自分とは違った価値観を認めることで、その人の気持ちに近づき、どうしたらその困りごとを解決できるのかと考えることが、センスのある「合理的配慮」につながるのだと感じました。



かわさきキャラバン隊による知的障害疑似体験の様子

昨年度に引き続き、堀江先生をお招きいたしました。知的障害のある人の思いに寄り添うことの大切さを今一度かみしめる研修会になりました。(仁尾 智都子)

おしゃべり塾 ～こんなときどうしてる？「あんしんノート」の使い方～

権利擁護副委員長 森 由里

12月10日(火)地域福祉施設「ちどり」にて、おしゃべり塾を開催しました。19名の方々に参加をしていただきました。

今回のおしゃべり塾では、改訂した「あんしんノート」についての説明と紹介のあと、成年後見制度についての座談会を行いました。当会の権利擁護委員会の仁尾智都子委員長に『成年後見制度の具体例 私の場合』というテーマで申請に必要なものなど基本的なことをお話しいただきました。仁尾さんは、息子さんの後見人を司法書士の方の成年後見監督人を付けて行っているそうです。実際に申立をされ、後見人をされているので、手続きや申立の際の家庭裁判所での面談の様子、後見人の業務などについてより具体的にお話を伺うことができました。

成年後見制度の問題点もいろいろ聞かれる昨今、後見人等の申立へのハードルはまだ高いと感じますが、「あんしんノート」も成年後見制度も、障害のある子どもがその子らしく安心して地域で暮らしていくしくみづくりの柱になるものだと思います。

今できる将来への準備を少しずつでも始めなければいけないと改めて強く感じた座談会でした。





## 令和元年度 川崎市障害者週間 記念のつどい・表彰式

11月30日(土)とどろきアリーナにおいて、障害者週間 記念のつどい・表彰式が「手をつなぐフェスティバル」内で行われました。表彰式の会場でも体験コーナーやフリーマーケットが同時に行われており、活気に満ちた式典となりました。



また、アリーナの内外では、様々なイベントが開催され、たくさんの方が楽しんでいました。

川崎市育成会手をむすぶ親の会からは、太田理佐さんが、「心身障害児(者)福祉功労者(育成功労者)」として表彰されました。お祝いを申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈りいたします。

(三浦 ルイ子)

## 手をつなぐフェスティバルに参加して

11月30日(土) 当会の紹介と知的障害疑似体験を多くの方に知っていただくために、「手をつなぐフェスティバル」に参加しました。当日は、冷たい風の吹く日となりましたが、会場となったとどろきアリーナには大勢の人が集まりました。

屋内会場では、ステージでのパフォーマンスや、パラスポーツ体験、障害者施設の製品の販売、パラアートの展示、福祉団体による体験コーナーなどが開催されました。また、屋外会場では、起震車で揺れを体験したり、はしご車と写真撮影したりでき、誰もが楽しく福祉や災害について学んだり、考えたりできる催しでした。

当会のブースでは、持参した広報紙やパンフレットを並べて、会の活動内容を具体的に紹介しました。また、『絵にしてみよう』『軍手でシール貼り』『これなあに?』の知的障害疑似体験に、30名以上の方が挑戦してくださいました。一人で参加される方や親子で参加される方など、予想以上に盛り上がりました。知的障害のある人が、言葉のあいまいさに戸惑う気持ちや懸命に頑張っている気持ちなどを感じていただけたのではと、思います。普段、障害のある人と触れあうことのない方にとって、良い経験となったのであれば、とてもうれしいことです。



障害のある人もない人も共に楽しめる空間を提供してくれるこの「手をつなぐフェスティバル」が、長く続いていけばよいなと思いつつ、帰路につきました。

(仁尾 智都子)

## 研修会のお知らせ

川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会  
知的障害のある人の思いを受け止めて  
～ 意思決定支援について ～

日 時：令和2年3月3日(火) 10:15～12:00

場 所：てくのかわさき 2階 てくのホール

講 師：野澤 和弘 氏 (一般社団法人スローコミュニケーション代表他)

ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。

令和元年度障害者週間 「連続セミナー」

『障害のある人達の発信でつなげよう地域と世界！』

「生の芸術」と言われる芸術文化の輝く力を考える

会計補佐 三浦 ひろみ

12月5日(木)有楽町朝日スクエアにて開催され、当会から5名で参加いたしました。

【シンポジスト】

丹羽 彩文氏 社会福祉法人 昴 業務執行理事/経営企画室長

滝澤 聡氏 社会福祉法人 八ヶ岳名水会

YAN 山梨アール・ブリュットネットワークセンター長

田端 一恵氏 社会福祉法人 グロー (GROW) 法人本部企画事業部

久保 厚子氏 全国手をつなぐ育成会連合会会長

【コーディネーター】田中 正博氏 全国手をつなぐ育成会連合会統括

昴の丹羽氏、YANの滝澤氏、GROWの田端氏は、それぞれが所属する法人内のアート・芸術部門を支援する事業を通じ、障害者施設での造形活動や、アート教室などでの製作者(作家)への支援をしています。また、完成された作品を海外や国内の展覧会で展示(アール・ブリュット-日本とスウェーデン展)したり、常設展示場所を開館したり(ボーダレス・アートミュージアム NO-MA)と、幅広い活動をしていらっしやいます。一歩動き出すことで、作品が多くの人々の目に留まり、評価され、人と人との繋がりができ、その結果、絵画や造形といった美術作品だけでなく、音楽やダンス、演劇などの生のパフォーマンス分野も、着実に発展してきているとのことでした。



田端氏・久保氏・田中氏・小島氏(司会)

また、久保会長は、「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化活動を推進する全国ネットワーク」の会長も務めていますが、このネットワークは、障害者団体等の28団体により構成され、障害者の文化芸術活動を推進するための啓発活動及び情報発信事業などの活動をしているそうです。2月には、2020東京大会・日本博を契機とした「障害者の文化芸術フェスティバルーグランドオープニング」が滋賀県で開催された後、7ブロックに分けて全国展開していくとのことでした。



丹羽氏・滝澤氏

固定観念にとらわれず自由な発想と方法で描かれた全ての作品から、障害のある人の純粋なものの捉え方、ユニークさ、そして、何よりも十人十色の個性を感じました。今後、ますます多様な文化・価値観を認め合う社会が実現していくことを願ってやみません。

**2019年度版** **生活サポート総合補償制度**

**知的障害児者・自閉症児者のための**

普通障害者保険(知的障害者等福祉団体障害者保険特約、地震・噴火・津波施設補償特約セット)

<p style="text-align: center; color: red;"><b>被保険者</b> (補償の対象者)</p> <p style="text-align: center;">知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。</p>	<p style="text-align: center;">補償期間 (保険のご契約期間)</p> <p style="text-align: center; font-size: large;">2019年4月1日から 1年間</p>	<p style="text-align: center;">掛金 入院2日目から補償プランB</p> <p style="text-align: center;">掛金… <b>23,000円</b>(保険料 19,810円)</p> <p style="text-align: center;">入院4日目から補償プランA</p> <p style="text-align: center;">掛金… <b>17,000円</b>(保険料 14,810円)</p>
--	---	--

詳細は担当代理店・協会または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険業務人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

担当代理店・協会  
**株式会社 ジェイアイシー**  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
 新宿三井ビル2号館2F  
 TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774  
 受付時間: 午前9時~午後5時  
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

ご加入のお問合せはこちら

引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
 https://www.aig.co.jp/sonpo  
**東京第二プロチャネル営業部**  
 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階  
 TEL: 03-6894-9110  
 受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会  
 〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢田4-2  
 神奈川福祉会福祉会館内  
 TEL: 045-314-7715 FAX: 045-324-0426  
 受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
 2018年11月現在の内容です。(D-003489 2019.11)

※令和2年1月1日現在ご加入者は9,495名です。毎月1日付で加入できます。今後ともご加入よろしくお祈りいたします。

## 支部通信

### なかはら茶話会（中原支部）

中原支部長 西澤 知子



10月11日（金）福祉パルなかはらに於いて、「なかはら茶話会」を開催しました。

台風が迫る中でしたが8名の参加がありました。自己紹介からはじまり、近況報告、ヘルプマークのこと、ショートステイ・グループホームなど、情報交換。不安に思っていることを口にして、共感されるだけでも、元気になれる気がします。

また、当会の「あんしんノート」最新版ができたことも、お話をさせていただきました。今後も、このような会を重ね、会員同士の交流を深めていけたらと思っています。



### 施設見学会開催（宮前支部）

宮前支部長 小澤 千枝



11月6日（水）中原区井田の障害ショートステイ「桜の丘」を支部の会員7名で見学しました。運営は白山福祉会で、特別養護老人ホーム「桜の丘」4階建ての1階に併設されています。障害支援区分1以上の方（18歳以上）が利用できます。9月にオープンしたばかりの新しい建物内部は、明るくゆったりとしていて気持ちの良い空間でした。個室は12床あります。設備面では、パ

ニックなど不穏な時に落ち着く効果があるというスヌーズレン室が珍しく、見学者の関心を集めていました。私たちの見学までは利用が始まっていなかったのですが、施設長さんのお話では「高齢者介護と障害者支援の違いや、職員が不足していることなど問題はあるが、少人数の受け入れから始める」ということでした。受け入れ態勢が整い利用できる人数が増えるように、そして、ショートステイ希望者が多く思い通り利用できない現状が少しでも緩和されるようにと今後に期待します。



### おしゃべり多摩11月（多摩支部）

多摩支部長 神田 明子

11月27日（水）福祉パルたまの研修室で、おしゃべり多摩を行いました。電子マネーの使い方や多摩区に新設されるグループホームについて情報交換を行いました。

また、台風19号の被害に遭った通所施設の現状や、多摩区内の被害状況について話しました。通所施設が被害にあった時の対策などを考えていく必要があると思いました。家族構成や被害の状態など違いはありますが、いろいろなことをお



しゃべりしています。気になることや心配ごとを話すことで、少し気持ちが楽になることもあります。気軽に参加してください。次回は5月を予定しています。



### 幸通信（幸支部）

幸支部長 角田 三津子

幸支部では、「幸通信」を年に4回、発行しています。障害のある人の生活に役立つ情報や幸区の気持ちが和むスポット紹介などを掲載しています。多くの方に読んでいただければ、うれしいです。

## 福祉まつりに参加して（川崎支部）

川崎支部 阿部 多賀子

11月16日（土）川崎区社協主催の福祉まつりが、教育文化会館で開催されました。

「手話体験」や「パラスポーツ体験」、「盲導犬コーナー」、「作業所出店」など、障がいを楽しく理解しようというおまつりです。

今年度は、ヒューマノイドロボ「NAO」が初登場。ロボットなのに「緊張してます」と語っていました。介護での活躍が期待されます。

川崎支部では「作業所出店マルシェ」に参加し、複数の作業所から仕入れた手作り品を紹介する目的で販売しました。来年の干支のねずみをモチーフとした製品や機織りの布を使ったポーチ、布紐を編んだマットなど、人気の品が並び、大変にぎわいました。



また、パンフレットに付いている無料コーヒー券と作業所販売の美味しいパンで、ランチも楽しみ、最後に、川崎区社協イケメンキャラクター「ウェーブくん」と記念撮影をして、充実した1日を終わりました。



## 令和元年度 勉強会&茶話会（川崎支部）

川崎支部 加藤 敦子



12月11日（水）かわさき障害者福祉施設たじま1階の地域交流スペースにて、「川崎支部の勉強会&茶話会」を開催しました。今回の勉強会は、司法書士の神谷直先生をお招きして『安心したい「親なき後のこと」～課題の整理と自分の時間を作る～』というテーマでお話をいただきました。参加者は、22名でした。

成年後見と聞くとハードルが高いイメージを持ちますが、今回は「安心」という点に着目したわかりやすい内容でした。成年後見人の前段階として、後見人の「候補者」を見つけておくことが大切であるというアドバイスは、とても心に響きました。「候補者」であればすぐに行動に移すことができる…と思えるお話しで、終了後は前向きで明るい気持ちになりました。

参加者からは、「初めて成年後見について理解できた」「また是非、神谷先生にお話を継続して聴きたい」などの感想が寄せられました。その後の茶話会では、美味しいお菓子を食べながら会話が弾み、楽しいひとときを過ごすことができました。



## あさお語ろう会（麻生支部）

麻生支部 磯 優子



生活介護事業所内  
「カフェ・リアン」

12月9日（月）『あさお語ろう会』をNPO法人わになろう会・麻生運営「カフェ・リアン」にて、開催しました。参加者5名と少人数だったので、テーマを決めず「弁当弁」のお弁当を食べながらおしゃべりを楽しみました。

近況報告やグループホームでのお子さんの様子など、普段なかなか聞けずにいることも、遠慮なく聞くことができ、とても楽しい時間を過ごせました。「こんな形式も、いいね!」という

ことで、次回5月頃の開催を予定しています。今回、参加されなかった方も、是非いらしてください。



## 川崎市立田島支援学校 文化祭



芸術的な看板

小学部・中学部桜校11月3日(日)、高等部本校11月16日(土)に文化祭が開催されました。今回は、今までの「学習発表会」から「第1回文化祭」と改め、体育館のステージだけでなく、校内廊下や昇降口でも、生徒の美術作品などの学習成果に多くふれることが出来ました。A課程B課程のそれぞれユニークなパフォーマンス。

中でもTVでお馴染みのCMを多種演じるなど、子どもから大人まで楽しめました。

田島支援学校の集大成！高3生の群読、チェアラインダンス、ハンドベル、トーンチャイム、歌、ダンス、サンタさん、個性が光っていました。学年総出のロックソーランは圧巻で、最後の手話付き合唱は、涙を誘う感動の歌声でした。息の合ったパフォーマンスで多くの感動をもらいました。また、在校生保護者だけでなく、多くの卒業生や卒業保護者の方々も、後輩達のステージを応援しに来てくださり、大盛況となりました。



高3生の手話付き合唱

学校でしか味わえない仲間との共同作業、卒業後にも、この経験を糧に皆さんが社会でも個性を生かして輝いてほしいと思います。  
(島田 可奈子)



## 中央支援まつり

中央支援学校支部 鈴木 佳子

11月16日(土)に中央支援まつりが行われました。

今年は午前中に体育館(株)ピッカの講師の方によるダンスパフォーマンス鑑賞、ダンス体験がありました。



会議室では高津高校軽音楽部の演奏会が行われ、沢山の生徒が楽しみ、体育館では福祉施設販売、フリーマーケットがあり、生徒の皆さんも一緒に買い物をしました。また、ゲームコーナーでは、お菓子すくい、ボウリング、さかなつり、的当て等を楽しみました。

今年も福祉施設販売で、卒業生が一生懸命販売している姿は素敵でした。模擬店もあり、豚汁、焼きそば、おにぎりなど沢山販売されました。分教室生徒によるお茶席、喫茶室は今年も大好評。

卒業生、地域の方もご来校になり、素晴らしい一日でした。

## 令和元年 「川崎市障害者作品展」

副会長 吉野 明美

12月18日(水)～22日(日)アートガーデンかわさき第3展示室で開催されました。今年は、様々な年齢や障害のある方たちの作品(絵画・写真・書・手工芸・俳句)が多く展示され、色使いの美しさや繊細な作業を要するものなど趣向を凝らした力作で会場はいっぱいになりました。

来場者からは、「発想が素晴らしい」「根気いるよね」「綺麗な色」「来年も観に来ます」との声が聞かれました。中には、ご自分の作品が展示されていることを恥ずかしそうに紹介して下さる方もいて、そのときは、会場にあたたかな空気が流れました。

会期中の土曜・日曜にはワークショップが行われ、クリスマスリース・アイロンビーズ・3色パステルアート・祝い膳を作る体験にも、会場が賑わいました。

～作品を作り展示する～自分を表現する機会・場所がこれからも続いて欲しいと思いました。



## 私たちの広場「勉強会」11月10日（日）実施



6月のスポーツの会でポッチャをりましたが、ルールがよくわからず、せっかくならポッチャの勉強をしようという流れで今回のテーマが決まりました。

NPO法人 高津総合型スポーツクラブ SELFさんより安藤 毅史先生をご紹介頂き、始めは座学でした。「覚える事は3つだけ。」①白いボールに近い方が勝ち。②遠い方が投げる。③得点の計算方法。ととてもシンプルなもの

でびっくりしました。すぐに実践です。男女別チームに分かれました。会議室内の即席のコートは、実際より距離が短くて投げる力加減も強くなり過ぎないからか、白いボール（ジャックボール）に向けて狙いを定めて投げる事ができました。夏でもないのにコーチがうちわを持参されているのが不思議でしたが、競技が始まるとその謎が解けました。青チームから赤チームに代わる時にうちわを反対にすると、青のうちわがピンク地にアイドル？の写真のうちわに早変わり！“ドッ”と笑いが起こりました。とてもわかりやすい合図で場も和み、競技も楽しく進み「毎週やりたい。」との声も上がりました。



次回のスポーツの会には腕に磨きをかけて臨まれる方もいるかもしれません。（事務局）

## かわしん ふれあい市場

10月18日（金）かわしん ふれあい市場が、川崎信用金庫本店ロビーにて開催されました。各作業所から多種多様な製品が販売され、見ていると試してみたいくなるような珍しい製品が、



たくさんありました。中でも、日本古来の高栄養食品どんぐり粉を丁寧に焙煎し、ノンカフェイン、ポリフェノールたっぷり、アンチエイジング、抗酸化、とのラベルがついていた『どんぐりカフェ』の味に興味をわきました。他にも被災地の三陸わかめや、丸森町（宮城県）の作業所の製品もありました。



意外と普段お目にかかれぬ貴重な品物が見つかるかもしれません。ぜひ、皆さまも足を運んでみてください。（小西 真弓）

## 第6回ふれあいバザールみぞのくち

11月14日（木）川崎市と社会福祉法人ともかわさきの主催で、JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路に於いて開催されました。今回の出店は14店で、各施設の利用者さんや職員さん達の思いの伝わる手作り品が並びました。

当日は例年よりも暖かくなり、会場はゆっくり時間をかけて製品を見て買い物する人たちで賑わいました。人気の製品は毎回繰り返し購入される方がいるようです。中には、お店の製品紹介プリントを配布しているところもあって、それを興味深く読んでいる方も見かけます。私も、毎回、新しい発見があります。

多くの方が会場に来て製品を購入していただけるようにと思います。

（小澤 千枝）



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告  
 《令和元年10月17日～令和2年1月21日まで》

<各種会議、行事>

10月21日(月)	行政関係者との研修会	てくのかわさき
11月7日(木)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
19日(火)	第7回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
20日(水)	やまゆりとの共催研修会	てくのかわさき
26日(火)	第4回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
28日(木)	第3回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
12月3日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
4日(水)	第5回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
4日(水)	川崎市弘済会よりの寄付受領	地域福祉施設「ちどり」
10日(火)	おしゃべり塾	地域福祉施設「ちどり」
17日(火)	第8回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
1月10日(金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
21日(火)	第9回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

10月17日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
18日(金)	かわしん ふれあい市場	川崎信用金庫本店
11月5日(火)	障害者差別解消支援地域協議会	ソリッドスクエア
8日(金)	令和2年成人を祝う会第2回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
9日(土)	関東甲信越ブロック大会埼玉大会	埼玉県浦和
14日(木)	第6回ふれあいバザールみぞのくち	溝ノ口駅南北自由通路
18日(月)	障害者団体部会リーダー研修会	横浜市社会福祉協議会
21日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
26日(火)	やまゆり事業推進委員会	神奈川県社会福祉会館
30日(土)	手をつなぐフェスティバル・市長表彰式	とどろきアリーナ
12月3日(火)	障害者作品展実行委員会	南部身体障害者福祉会館
4日(水)	障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
5日(木)	障害者週間連続セミナー	有楽町朝日スクエア
6日(金)	令和2年成人を祝う会第3回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
18日～22日	川崎市障害者作品展	アートガーデンかわさき
19日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
26日(木)	市社協評議員会	川崎市総合福祉センター
1月7日(火)	令和2年成人を祝う会拡大実行委員会	川崎市民プラザ
16日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
18日(土)	令和2年成人を祝う会	川崎市民プラザ

寄 付	一般社団法人	川崎市弘済会	100,000 円
賛助会費	関 公子	中原区上小田中	5,000 円
	川村ふじ江	幸区南加瀬	3,000 円
	匿 名	多摩区	20,000 円
	角田 政行	幸区下平間	10,000 円
	吉野 謙二	中原区市ノ坪	5,000 円
	梅田 俊彦	宮前区初山	5,000 円
	加藤 久雄	川崎区藤崎	5,000 円
	中村恵美子	川崎区浅田	3,000 円
	阿部多賀子	川崎区富士見	3,000 円



今年も、ご寄付を賜り  
感謝申し上げます。



編集後記

今号では成人を祝う会について掲載いたしました。子どもたちの凛々しく誇らしい姿を見てるととても頼もしく感じられ見守ってこられた保護者の方々、先生方の感慨もひとしおだと思います。昨年は事件や自然災害などに見舞われました。会として皆を守るため必要な情報をお届けしていきたいと思っております。これからもよろしくお願ひいたします。(神田 明子)

【もくじ】

- P. 1 ..... 美和会長新年あいさつ
- P. 2 ..... 成人を祝う会 市長祝辞
- P. 3 ..... 新成人の誓いの言葉
- P. 4 ..... 手をつなぐ育成会関東甲信越大会埼玉大会 式典・全体会
- P. 5 ..... 第1分科会／第2分科会
- P. 6 ..... 第3分科会／本人会
- P. 7 ..... 行政関係者との研修会／やまゆり研修会
- P. 8 ..... やまゆりとの共催研修会／おしゃべり塾
- P. 9 ..... 記念のつどい福祉功労者賞／手をつなぐフェスティバル/研修会のお知らせ
- P. 10 ..... 障害者週間連続セミナー／やまゆり広告
- P. 11 ..... 支部通信
- P. 12 ..... 支部通信
- P. 13 ..... 支部通信／障害者作品展
- P. 14 ..... 私たちの広場／かわしんふれあい市場／ふれあいバザールみぞのくち
- P. 15 ..... 活動報告／賛助会費
- P. 16 ..... 成人を祝う会／編集後記

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ  
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」  
 TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>